

国際開発 ジャーナル

International Development Journal

国際協力の
最前線をレポートする

JANUARY 2020
No.757

1

<https://www.idj.co.jp>

特集

開発協力の使命は 2020年代の能取り

IDJ REPORT
性的少数者の権利保護に動く
世界と動かぬ日本

NEWS & TOPICS

[Digima/ オフショア開発.com/ BPOサービス照会センター] 進出サポート企業70社が出展 海外ビジネスEXPO東京を開催

海外ビジネス支援プラットフォームの「Digima〜出島〜」とオフショア開発.com、BPOサービス照会センターは、2019年11月13日〜14日、海外ビジネスEXPO2019を東京で開催した。海外ビジネスをサポートする企業70社が出展し、2日間で2,375人が来場した。

2019年で5回目を迎えた海外ビジネスEXPOは、海外ビジネスに関する情報・支援サービスを提供する企業が集まるビジネスイベントだ。出展企業は大きく3つに分かれている。海外進出支援企業と、Webシステム開発などのBPO (Business Process Outsourcing) の実績を持つ各国のオフショア開発・BPO企業、そして昨今増加している訪日客のマーケティングや現地プロモーション支援を行うインバウンド支援企業だ。海外展開を目指す企業関係者などが来場し、パートナー企業を求めて各ブース・セミナーに足を運んだ。

13日に行われた基調講演には、(公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ) J.LEAGUE国際部長の山下修作氏が登壇し、スポーツと海外ビジネスと地域の未来について語った。Jリーグは2011年頃よりアジア各国のプロリーグと協定を締結して、Jリーグの運営ノウハウを提供し、コンサルティングを行っている。加えて、現在は日本企業のアジア進出支援も行っており、スポンサー企業などがJリーグを足がかりにアジア進出を始めている。山下氏は、「海外展

開では、忘れてしまいがちな自社の価値を違う視点から再発見することができる。Jリーグの場合、世界に誇れるものはマスコットや場外屋台など、試合以外での顧客満足度を高める仕組み。そうした価値を強みと考え、海外で勝負することができる」と語った。

このほか、政府開発援助(ODA)に長年携わっている(株)かいはつマネジメント・コンサルティング(KMC)の岡部寛代表取締役社長も、13日に行われたセミナーに登壇した。

KMCはスリランカ、ラオス、ベトナムにそれぞれ現地法人を設立している。岡部社長はセミナーで、各国の法・制度的特徴や文化・習慣、それに伴うビジネスで起こりやすい障害を挙げ、KMCが提供できる支援内容を成功例・失敗例を交えて紹介。「(海外展開においては) 現地のニーズを良く知るために適切なビジネスパーソンを探すこと、自社の何でどのように勝負するかを明確にすること、国内外に多くの利害関係者がいることを理解し彼らを巻き込んでいくこと、の3つが重要だ」とも語った。また、

JICA九州からはSDGs達成に向けた実施方針が説明された。



講演を行うKMCの岡部寛社長

国際協力人事アラカルト

外務省国際協力局

2019年11月27日付人事(カッコ内は前職)
◆参事官: 齋田 伸一氏(アフリカ部参事官)

八千代エンジニアリング(株)

新たに取締役1人と監査役1人が就任
八千代エンジニアリング(株)は9月24日に株主総会と取締役会を開催し、新たに多田幸夫氏が取締役、西村浩昌氏が監査役に就任した。

(株)三祐コンサルタンツ

常務執行役/国内事業部営業副統括に内藤久仁彦氏が就任
(株)三祐コンサルタンツでは、11月に内藤久仁彦氏が常務執行役/国内事業部営業副統括に就任した。

「国際開発ジャーナル」過去に掲載した記事の一覧は、下記ウェブサイトでもご覧いただけます。

<http://www.idj.co.jp/?cat=62>